

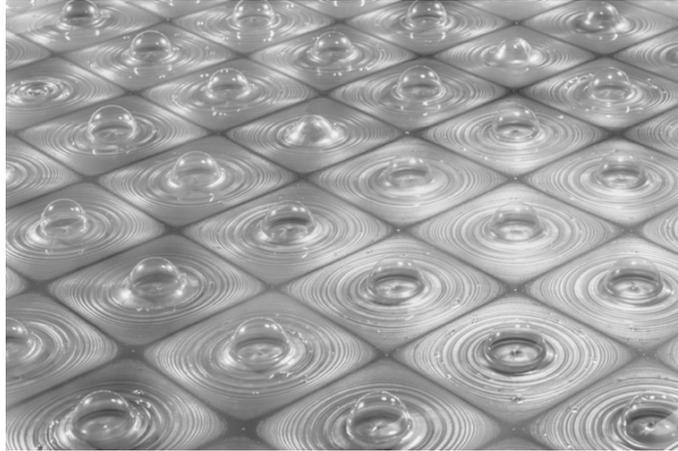
彫刻家 名和晃平による本展のために制作された最新作を公開

(仮称) 地域交流センター開館記念展

名和晃平 生成する表皮

十和田市現代美術館： 2022年6月18日(土) - 11月20日(日)

(仮称) 地域交流センター：2022年10月1日(土) - 11月20日(日) ※予定



《Biomatrix》2018年
ミクストメディア、サイズ可変
提供：SCAI THE BATHHOUSE、写真：表恒匡 | Sandwich
※参考画像

十和田市現代美術館と十和田市に9月から開館する(仮称)地域交流センター〔設計者：藤本壮介〕にて、彫刻家 名和晃平の個展「生成する表皮」を開催します。日程は、十和田市現代美術館：2022年6月18日(土) - 11月20日(日)、(仮称)地域交流センター：10月1日(土) - 11月20日(日)を予定しています。名和は、セル(細胞・粒)で世界を認識するという独自の概念を軸に、ガラスや液体などのさまざまな素材や技法を横断しながら、彫刻の新たなあり方を一貫して追求しています。素材の探求を通じて彫刻の概念を拡張してきた名和の活動の変遷を、大学院生時代のドローイングシリーズ「Esquisse」と代表作の「PixCell」、そして新作「White Code」を含む多様な作品シリーズから紹介していきます。

【 展覧会に関して：名和晃平 】

太古から変わらない現象に、新たなイメージを重ね合わせることで、現象への解釈は無限にひろげることができます。例えば、「断続的な雨」という現象に「コード」という現代のイメージを重ねることで、その現象の意味を拡張するなどです。本展が取り扱うのは、そうした日々の理解からこぼれ落ちたマージナルな情報領域であり、それを受け止める感覚と想像の拡張です。

展覧会タイトル「生成する表皮(英語：Generative Interface)」は、名和晃平の作品に通底する制作概念を表しています。レンズ効果により視点の移動とともに表皮が映像的に姿を変える「PixCell」シリーズ、シリコンオイルからグリッド状に泡が沸き立つ《Biomatrix (W)》。刻々と変化する界面は視触覚を静かに刺激して、見るものの感性を鋭敏に研ぎ澄まします。それは、情報化時代における知覚や認識のリアリティを背景に、物質と感性を介するインターフェースとしての「表皮」に焦点を当てています。

【 本展の見どころ 】

1. 過去作から新作まで多様な作品シリーズを展示し、名和晃平の活動の変遷を紹介
2. 本展のために制作された最新作《Biomatrix (W)》を初公開
3. 美術館では初展示となる「White Code」シリーズの新作を公開

お問い合わせ

十和田市現代美術館 広報：大谷(おおたに)

Tel. 0176-20-1127 Fax. 0176-20-1138 press@towadaartcenter.com www.towadaartcenter.com

【作家より美術館初公開の新作紹介】

White Code

秒速1センチ程でゆっくりと移動する支持体の上を、粘度を調整した絵の具が雫のようにしたたり落ちる「White Code」。麻の荒い表面に触れた絵の具の粒は、そのボリュームを維持したまま、ときに広がり互いに結びついて不規則に変化します。テレグラフの黎明期に使われたモールス符号や、モノクロ画面に流れるプログラムコードの雨を思わせるドット配列は、デジタル信号がアナログ装置によって出力されたかのようなマテリアルな質感を伴い、視触覚がつかぬ情報と意味のはざまにその存在を見出していきます。

Biomatrix (W)

真珠のような輝きと高い粘度を持つシリコンオイルの界面に、気泡（セル）がグリッド状につぎつぎと沸き起こる《Biomatrix (W)》。表面張力いっぱい張り詰めた透明な気泡がゆっくりとはじけ、その想像を裏切る速度の遅延が、視覚を麻痺させるような感覚を引き起こします。気泡のひとつひとつは、運動が引き起こす現象の単位であるとともに、皮膜をつくる細胞の要素にたとえられます。同様に、刻々と表情を変える液体素材の界面は、視覚情報を増幅するインターフェイスとして捉えられることができるでしょう。

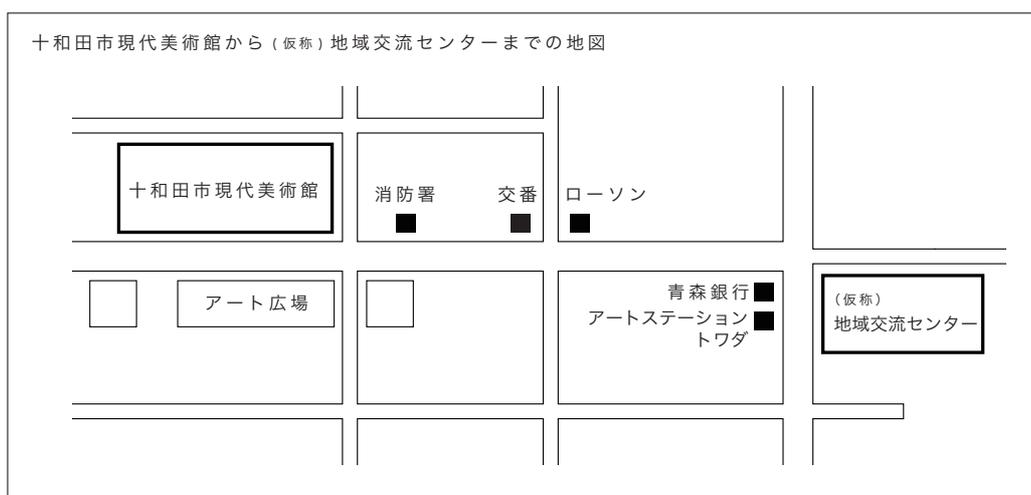
【(仮称) 地域交流センター】

本展の作品は、美術館の敷地内だけではなく、十和田市のまちなかに9月に開館する(仮称)地域交流センターでも展示されます。

こちらでは、名和晃平の版画作品「Array - Black」シリーズの《Dot》や《Line》の平面作品を展示予定です。



《Dot Array - Black #239》2022年
UVプリント、紙、アクリル、木製パネル 56 x 100 cm
提供：Gallery Nomart
撮影：加藤成文



お問い合わせ

十和田市現代美術館 広報：大谷（おおたに）

Tel. 0176-20-1127 Fax. 0176-20-1138 press@towadaartcenter.com www.towadaartcenter.com

名和 晃平 (なわ・こうへい)



彫刻家。Sandwich Inc.代表。京都芸術大学教授。1975年生まれ。京都を拠点に活動。2003年京都市立芸術大学大学院美術研究科博士課程彫刻専攻修了。2009年「Sandwich」を創設。名和は、感覚に接続するインターフェイスとして、彫刻の「表皮」に着目し、セル(細胞・粒)という概念を機軸として、2002年に情報化時代を象徴する「PixCell」を発表。生命と宇宙、感性とテクノロジーの関係をテーマに、重力で描くペインティング「Direction」やシリコンオイルが空間に降り注ぐ「Force」、液面に現れる泡とグリッドの「Biomatrix」、そして泡そのものが巨大なボリュームに成長する「Foam」など、彫刻の定義を柔軟に解釈し、鑑賞者に素材の物性がひらかれてくるような知覚体験を生み出してきた。近年では、アートパビリオン「洗庭」など、建築のプロジェクトも手がける。2015年以降、ベルギーの振付家/ダンサーのダミアン・ジャレとの協働によるパフォーマンス作品「VESSEL」を国内外で公演中。2018年にフランス・ルーヴル美術館 ピラミッド内に彫刻作品《Throne》を特別展示。

【パブリック・プログラム】

※下記の他にも、会期中にパブリックプログラムを予定しています。詳細は後日発表します。
※新型コロナウイルス感染症の影響により、日程や実施内容が変更となる場合があります。

アーティスト・トーク

日にち：2022年6月18日(土) | 時間：13:00 - 14:00 | 会場：十和田市現代美術館 Cube カフェ
料金：無料 ※要企画展チケット | 登壇者：名和晃平

学芸員によるギャラリートーク

日にち：2022年6月25日(土) / 8月7日(日) | 時間：11:00 - 12:00
会場：十和田市現代美術館 企画展示室 | 料金：無料 ※要企画展チケット

【開催概要】

展覧会名：(仮称) 地域交流センター開館記念展 名和晃平 生成する表皮

十和田市現代美術館

会期：2022年6月18日(土) - 11月20日(日)

開館時間：9:00 - 17:00 (入場は閉館の30分前まで)

休館日：月曜日(祝日の場合はその翌日) ※最新の情報はwebサイトをご確認ください。

観覧料：1800円(常設展込み)。高校生以下無料。

(仮称) 地域交流センター

会期：2022年10月1日(土) - 11月20日(日) ※予定

開館時間：9:00 - 17:00 (入場は閉館の30分前まで) ※予定

休館日：月曜日(祝日の場合はその翌日) ※美術館の休館日に準じます。

観覧料：無料

主催：十和田市現代美術館

後援：青森朝日放送、青森テレビ、青森放送、デーリー東北新聞社、東奥日報社、十和田市教育委員会

特別協力：ナンジョウアンドアソシエイツグループ

展示協賛：手塚清(kōjin kyoto)、藤波克之(VB ジャパンテクノロジー株式会社 代表取締役)

展示協力：寺田倉庫株式会社、ファーストプライウッド株式会社、青森プライウッド株式会社、星野リゾート 奥入瀬溪流ホテル

キュレーター：見留さやか



星野リゾート
奥入瀬溪流ホテル

十和田市現代美術館

2008年に東北初の現代美術館として開館。草間彌生、奈良美智、塩田千春、ロン・ミュエクなど世界の第一線で活躍するアーティストらの作品を常設展示。美術館の中だけでなく、周辺には公園のようなアート広場があり、子どもから大人まで散策しながら魅力あるアートとのふれあいを楽しむことができる。

所在地：青森県十和田市西二番町 10-9

TEL: 0176-20-1127 FAX: 0176-20-1138 web: www.towadaartcenter.com



お問い合わせ

十和田市現代美術館 広報：大谷(おおたに)

Tel. 0176-20-1127 Fax. 0176-20-1138 press@towadaartcenter.com www.towadaartcenter.com

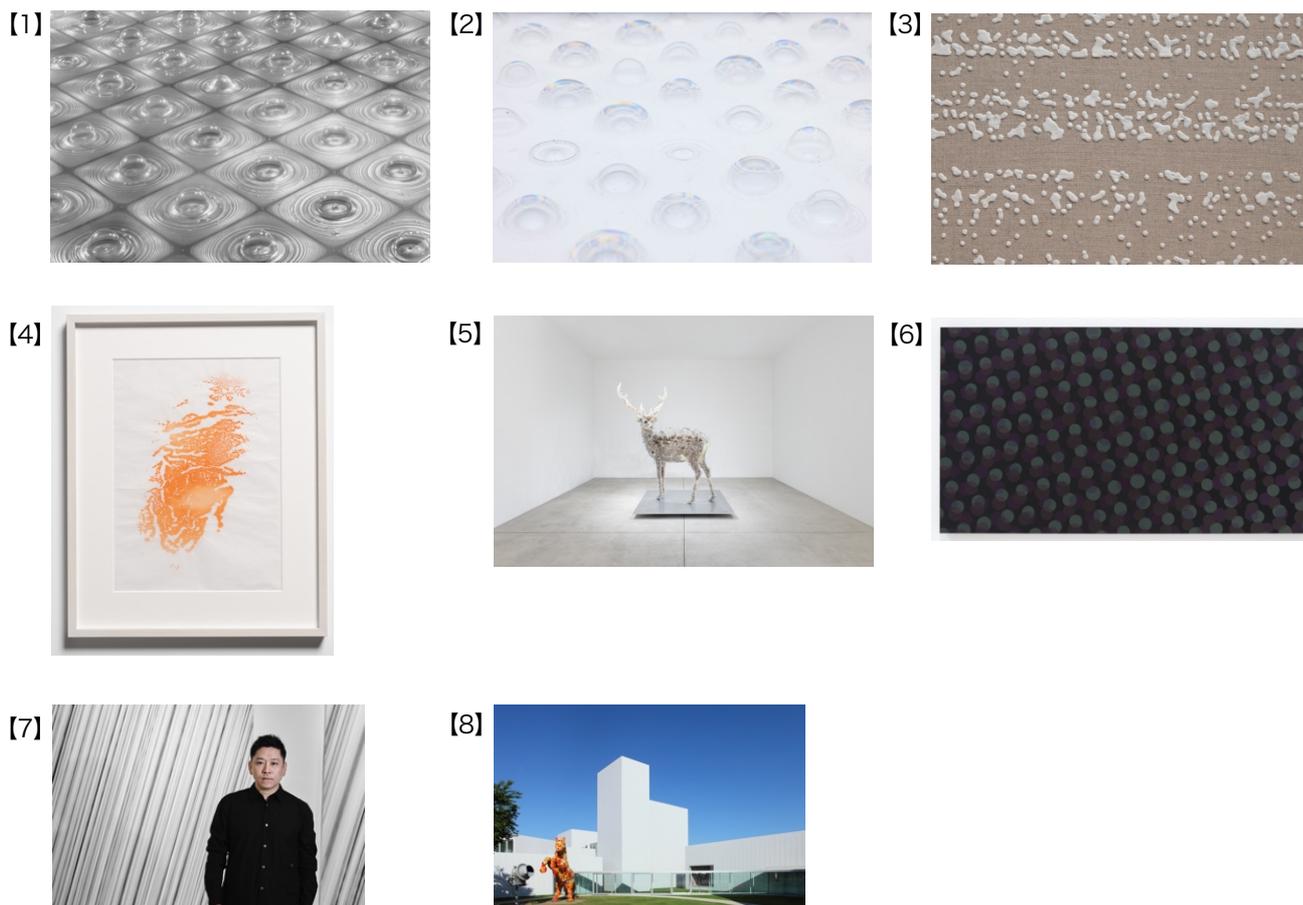
【 広報用図版 】

ご希望画像の作品番号にチェックを入れ、申込みフォームの項目をご記入の上、本用紙を FAX または E-mail にてお送りください。

FAX : 0176-20-1138 / E-mail : press@towadaartcenter.com

TEL : 0176-20-1127 / 住所 : 034-0082 青森県十和田市西二番町 10-9

十和田市現代美術館 広報 大谷 行



媒体名 _____
 媒体ジャンル 新聞/雑誌/美術誌/テレビ/WEB/その他 (_____)
 御社名 _____
 御担当者名 _____
 所在地 〒 _____
 電話 _____
 メールアドレス _____

【 画像ご使用に際して 】

- クレジットは全て明記してください。
- トリミングはご遠慮ください。
- キャプション等の文字が画像に被らないよう、レイアウトにご配慮ください。
- ご掲載の際は恐れ入りますが校正の段階で美術館までご確認ください。

お問い合わせ

十和田市現代美術館 広報 : 大谷 (おおたに)

Tel. 0176-20-1127 Fax. 0176-20-1138 press@towadaartcenter.com www.towadaartcenter.com